

## キャンドルのつどい展開例

### 【役割分担】

役割	人数	内容
司会者	1～2名	プログラム全体を進行する人（引率者の場合が多い）
火の神	1名	つどいの中心。はじめや終わりの言葉を述べる人（引率者）
火の女神	1名	つどいの聖火となるろうそく（親火）を運ぶ人
火の守	2～5名	親火から燭台のろうそくに火を移し、誓いの言葉を述べる人
音響効果係	1～2名	マイクや音楽、照明等の係（引率者でもよい）
準備撤収係	数名	会場でシートや燭台を設置し、終了後に片付けをする係

### 【プログラム】

第一部 迎え火のつどい	(1) 入場・開会 (2) 開会宣言・歌「_____」 (3) 火の女神入場 (4) はじめの言葉 (5) 分火・誓いの言葉 (6) 点火 (7) 火の神、火の女神退場・歌「_____」
第二部 交歓のつどい	(1) レクリエーション（スタンツ）
第三部 送り火のつどい	(1) 黙想 (2) 終わりの言葉 (3) 送り火・歌「_____」 (4) 火の神退場・閉会

### 【進行表】

#### 第一部 迎え火のつどい

順序	内容
(1) 入場整列	・静かに全員入場（燭台を丸く囲んで立つ）
(2) 開会宣言	(司会者) 「今日一日、私たちの活動を照らし続けた太陽も、西の彼方へ沈んでいき、穏やかな夜が訪れました。これまでの活動をふりかえり、私たちの友情と団結の輪を深めるため、これからキャンドルのつどいを行います。 はじめに『_____』を歌いながら火の女神を迎えましょう。」  ・(全員) …歌の斉唱（例『遠き山に日は落ちて』）
(3) 火の女神入場	・火の女神が火のついたろうそく（親火）を持ち、火の神、火の守を先導して入場する。 （歌に合わせて入場し、円の内側を1周して所定の位置につく）
(4) はじめの言葉	(火の女神) 「私は、皆さんの代表として聖なる火を運んできました。この火は皆さんの団結と成長を願う火です。この火のもとで友情を深めてください。」  ・(火の女神) …火の神にろうそくを渡す。 ・(火の神) …ろうそくを受け取り、火に関わりのある話をする。  (火の神) 「今、静かに燃えているこのキャンドルの火を見つめてください。」

	<p>火は人間に与えられた貴重な宝物です。今日の文明も火によって築かれてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに燃えるこの火は、醜いものの一切を焼き尽くす情熱の根源です。私たちの心の中の醜いものを焼き捨てましょう。</li> <li>・暖かさを与えてくれるこの火は、愛情の根源です。温かい心で人に接することのできる人間になりましょう。</li> <li>・闇を照らすこの火は、この世界を支える奉仕の根源です。私たちも社会に役立つ人間になりましょう。</li> </ul> <p>(火の守の人数分の「〇〇の火」を準備する。)</p> <p>火の教えを心に刻み、自分を磨きながら、助け合い、励まし合って、すばらしい人間に成長していきましょう。」</p>
(5) 分火・誓いの言葉	<p>(司会者)</p> <p>「火の神から火の守へ、キャンドルの火が分化されます。火の守は火の神の前に集まってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(火の神) …火の名を伝えながら火の守のろうそくに分火する。 「これは情熱の火です。」 「これは愛情の火です。」 「これは奉仕の火です。」 「これは〇〇の火です。」 …</li> <li>・(火の守) …全員に分火されたら燭台のまわりに立つ。</li> </ul> <p>(司会者)</p> <p>「これから、火の守から『誓いの言葉』が述べられます。」</p> <p>(火の守[ ])</p> <p>「私たちは、 _____ を誓います。」</p> <p>(火の守A/例)</p> <p>「私たちは、人に誇れる正しい心を養うために努力していくことを誓います。」</p> <p>(火の守B/例)</p> <p>「私たちは、みんな仲良く協力しながら成長していくことを誓います。」</p> <p>(火の守C/例)</p> <p>「私たちは、社会の一員として、郷土を支える心を育てていくことを誓います。」</p> <p>(司会者)</p> <p>「ありがとうございました。今、この ____ つの誓いを私たちの歩みの道しるべにしていくことを、あらためて皆さんとともに誓い合いたいと思います。」</p>
(6) 点火	<p>(司会者)</p> <p>「火の守によって、キャンドルの火が点火されます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(火の守) …燭台に点火する。 全部のろうそくに点火したら、火の神のろうそくも燭台に置き、元の位置に戻る。</li> </ul> <p>(司会者)</p>

	「今、火の守によってすべてのキャンドルに火がとりました。この火に感謝しながら、しばらく見つめましょう。」
(7) 火の神、女神退場	<p>(司会者)</p> <p>「それでは、ここで皆さんと『_____』を歌って、『迎え火のつどい』を終わりたいと思います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全員) …歌の斉唱 (例『若者たち』)</li> <li>・(火の神・火の女神) …歌に合わせて退場する。</li> </ul>

## 第二部 交歓のつどい

順序	内容
	<p>※歌やスタンプを各団体で設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全員) …すべてのスタンプ終了後、元の場所に整列する。</li> </ul>

## 第三部 送り火のつどい

順序	内容
(1) 黙想	<p>(司会者)</p> <p>「今から『送り火のつどい』を始めます。皆さん目を閉じて、1分経ったと思う人から静かに立ってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(音響効果係) …全員が目を閉じたら照明を消す。</li> <li>・(火の神) …入場し、燭台の前に立つ</li> <li>・(全員) …1分後に静かに立つ</li> </ul>
(2) 終わりの言葉	<p>(司会者)</p> <p>「それでは、最後に、火の神から終わりの言葉があります。」</p> <p>(火の神)</p> <p>「私たちは、今夜のキャンプファイヤーを全員で協力して盛り上げ、楽しいひと時を過ごすことができました。今日ここに灯されたキャンドルの火は、皆さんの心にも灯され、友情の火として明るく輝くことでしょう。</p> <p>希望に満ちたこれからの人生には、苦しいこと、悲しいこと、くやしいことが待ち受けているかもしれませんが、その時は、この火、この友を思い浮かべ、力強く生き抜いてください。</p> <p>皆さんがこの「_____ (行事名)」を通して、今までの自分とは少し違う、「_____ (行事のめあて)」な自分に成長していることを期待しています。」</p>
(3) 送り火・歌	<p>(司会者)</p> <p>「いよいよこのキャンドルのつどいも終わりの時間が来てしまいました。最後に『_____』を歌って、幕を閉じたいと思います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全員) …歌の斉唱 (例『今日の日はさようなら』)</li> </ul>
(4) 火の神退場・閉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(火の神) …歌が始まったら、場内を1周して退場する。</li> </ul> <p>(司会者)</p> <p>「以上をもって、今日のキャンドルのつどいを終了します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全員) …引率の先生の指示に従って、全員無言で退場する。</li> </ul>